

請 願

請願第 2 号 市道西谷坂元線と県道中寺北条線の交差点の安全対策について

(請願趣旨) 警察、県、市が協議し環境を整え、市道西谷坂元線と県道中寺北条線との交差点に信号機を設置していただきたい。

委員会審議 建設経済厚生常任

問 警察にも要望されているが、信号機設置の必須条件について詳しく説明願いたい。

答 (紹介者) 県道が狭く、大型車と交差する際は、通行できないほどです。交差点付近とその両側の一部分の拡幅が必要で、すぐには信号機が設置できないということでした。

問 請願の提出までの経緯は。

答 (請願者) 市道開通前から信号機設置を要望してきました。長年、県道が優先道路で、それが変更されても通りなれた車は一旦停止せず、事故が多発しています。事故防止には、やはり信号機設置しかないと思い、新たに区長会で決議して請願することにしました。

問 開通後すぐに事故が発生し、安全対策が必要な交差点として新聞にも取り上げられたが、市や県の

対応ではいつになるかわからず、早急に対応してほしいとの請願と理解してよいか。

答 (請願者) そのようにお願いします。

討論【賛成】

- ・市民の命を守るためにぜひ加西市がイニシアチブをとり、警察、県と協議をして県道拡幅等の条件を整え、交差点に信号機を設置していただきたい。これは、地域住民全体の切なる願いである。
- ・感知式信号や停止線の位置変更、大型車の通行禁止についても考慮し、しっかりとした対策をしていただきたい。

(委員会での議決結果) 全会一致で採択

※ 本会議最終日においても全会一致で採択し、その後、審議結果を市長に送付しました。

意見書案

意見書案第 2 号 下水道施設の改築に係る国庫補助制度の継続と予算枠の拡大を求める意見書

可決 (全会一致)

加西市では、昭和 53 年度から下水道整備に着手し、その後、平成 3 年度に兵庫県が提唱した「生活排水対策 99% 大作戦」に基づき強力に整備を進めてきた。近年では、加西市下水道長寿命化計画に基づく管渠等の管更生事業や処理場の統廃合事業などを進める一方で、今後、改築の時期を迎える多くの下水道施設について、計画的に改築更新を進めるためのストックマネジメント計画策定など、将来にわたって下水道施設の機能を維持していくための取組を進めている。

このような状況の中、国の財政制度等審議会において、汚水処理施設に対する国の財政支援は「受益者負担の原則」と整合的なものに見直していく必要があるとの指摘があり、これを受けた国の平成 31 年度予算では、浸水対策及び未普及対策等に国庫補助が重点配分されたところである。

今後も、老朽化した汚水処理施設の改築への国庫補助が削減されれば、一般会計繰入金の増額や下水道使用料の増額改定により、必要な財源を賄わざるを得ず、必要な財源が確保できなかった場合には大規模地震発生時等において、汚水管の破損による汚水の流出や道路陥没の発生、さらには下水処理の機能停止によるトイレの使用停止などの事態が発生し、市民生活に重大な影響が及ぶことが懸念される。

さらには、発生確率が 70～80% に引き上げられた南海トラフ地震や播磨地域を中心に大規模被害が想定される山崎断層地震など、国難をもたらすような巨大地震はいつ起きてもおかしくない状況にある。

については、将来にわたって下水道サービスを確実に提供し、市民生活や社会経済活動を守り、快適な暮らしを支えとともに、南海トラフ地震をはじめとする自然災害に備えるため、下記の事項に取り組みされるよう強く求める。

記

- 1 下水道施設の改築に係る国庫補助制度を堅持すること。
- 2 その上で、災害時の機能保全、安全性確保の観点から、下水道施設の老朽化対策に必要な予算を確保すること。
- 3 南海トラフ地震や播磨地域を中心に大規模被害が想定される山崎断層地震、及び巨大台風をはじめとする自然災害に備える事前防災の観点から、防災・減災対策等に必要な予算を確保すること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

令和元年 9 月 26 日

兵庫県加西市議会